

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 26 日

福島市長 木 幡 浩 様

提出者
住 所 福島県福島市南沢又字前田13番地7
氏 名 株式会社 日 新 土 建
代表取締役 桃 井 三 夫
電話番号 024-557-5511

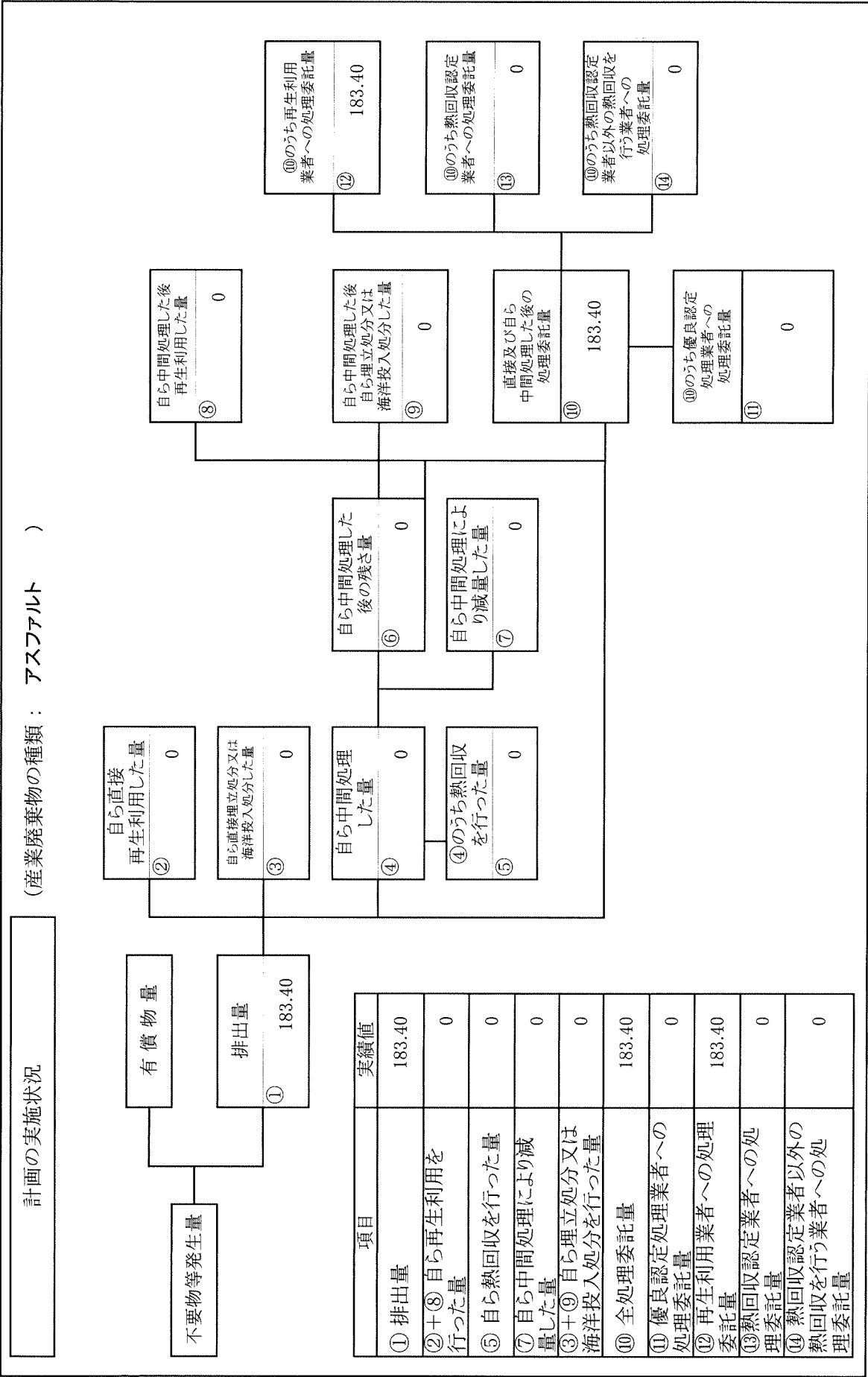
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

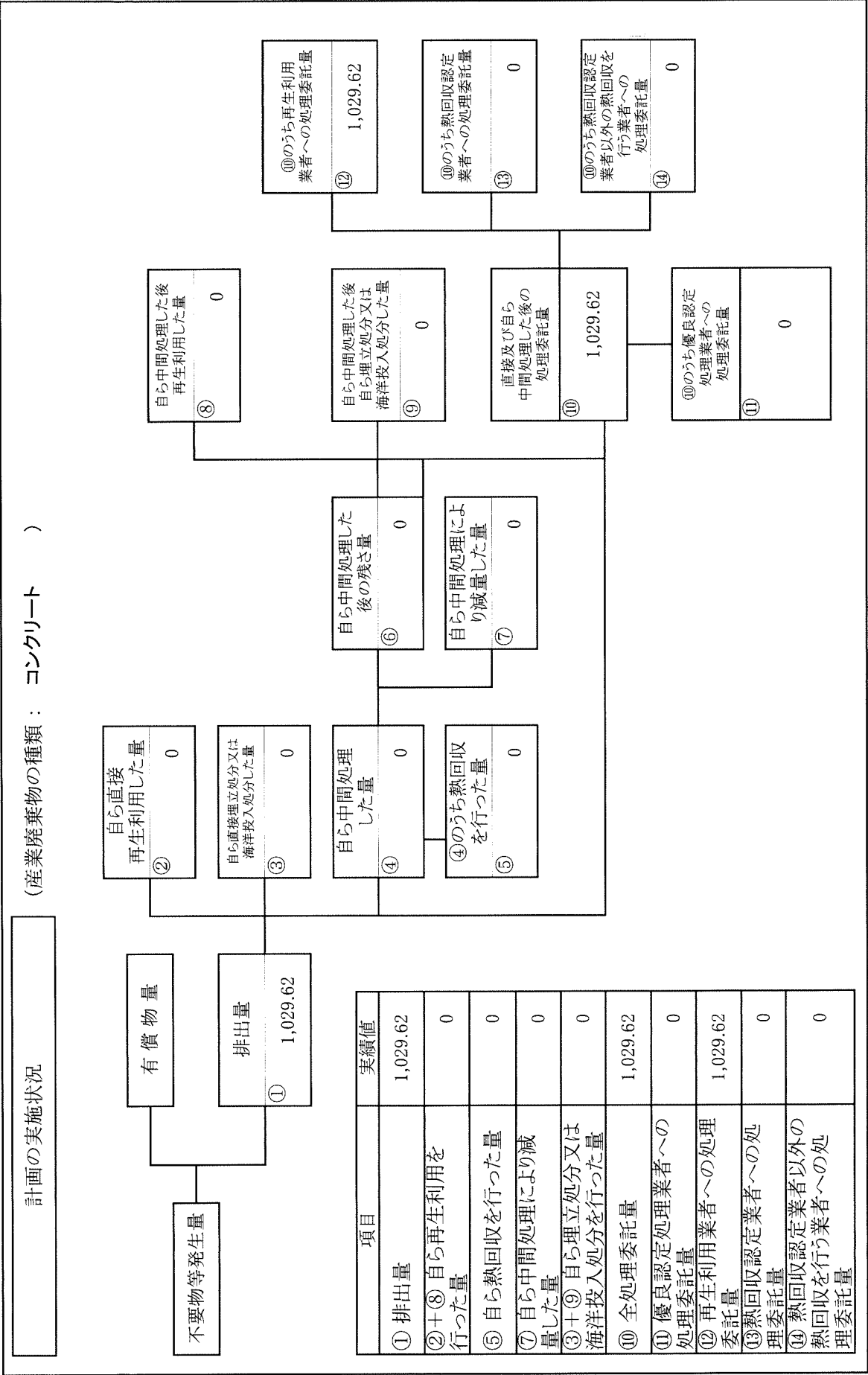
事業場の名称	福島市内の各工事現場名
事業場の所在地	福島市内の各工事現場所在地
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,500 t	全処理委託量	2,500 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)





計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

254.64

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

254.64

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

254.64

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

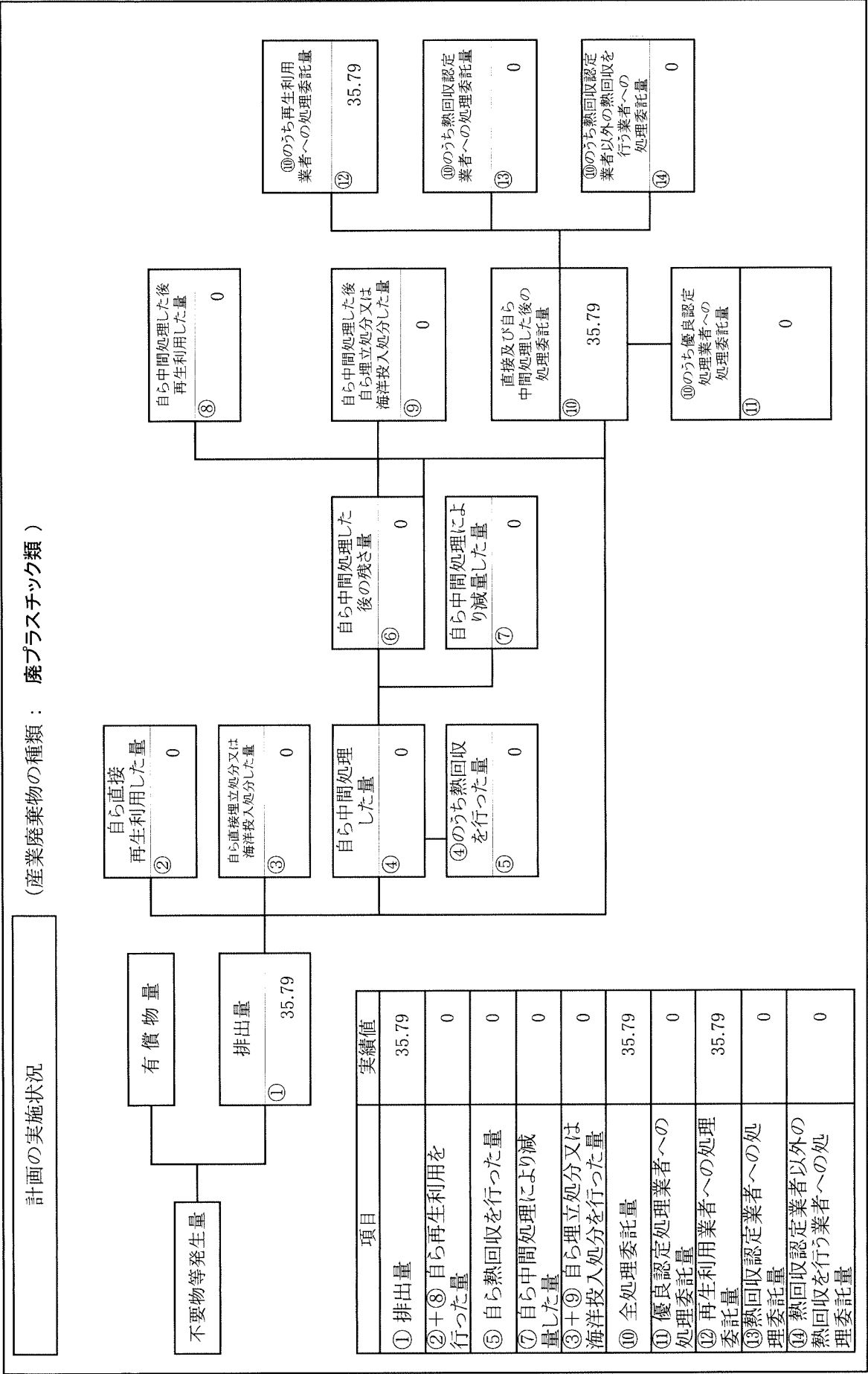
0

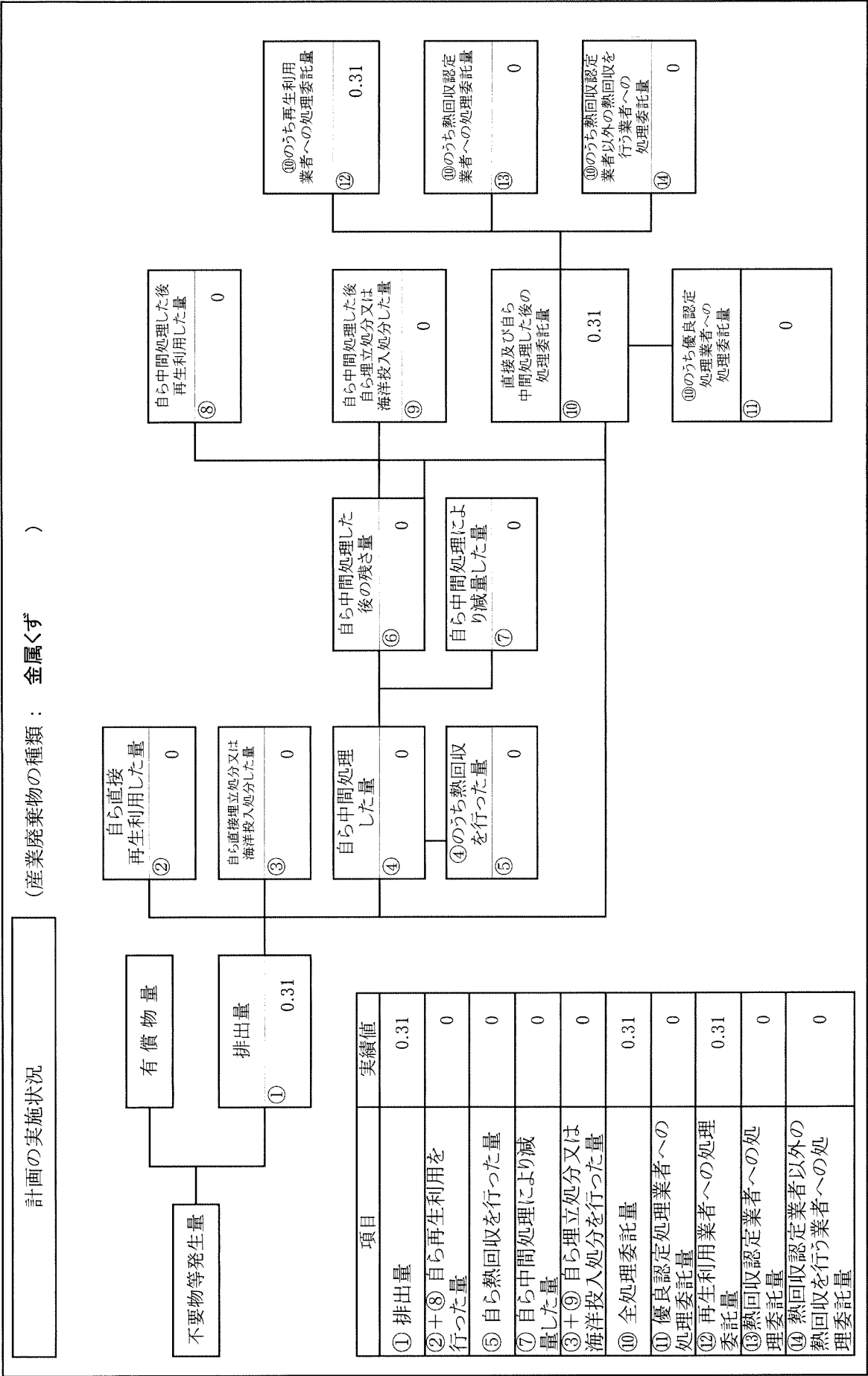
⑭

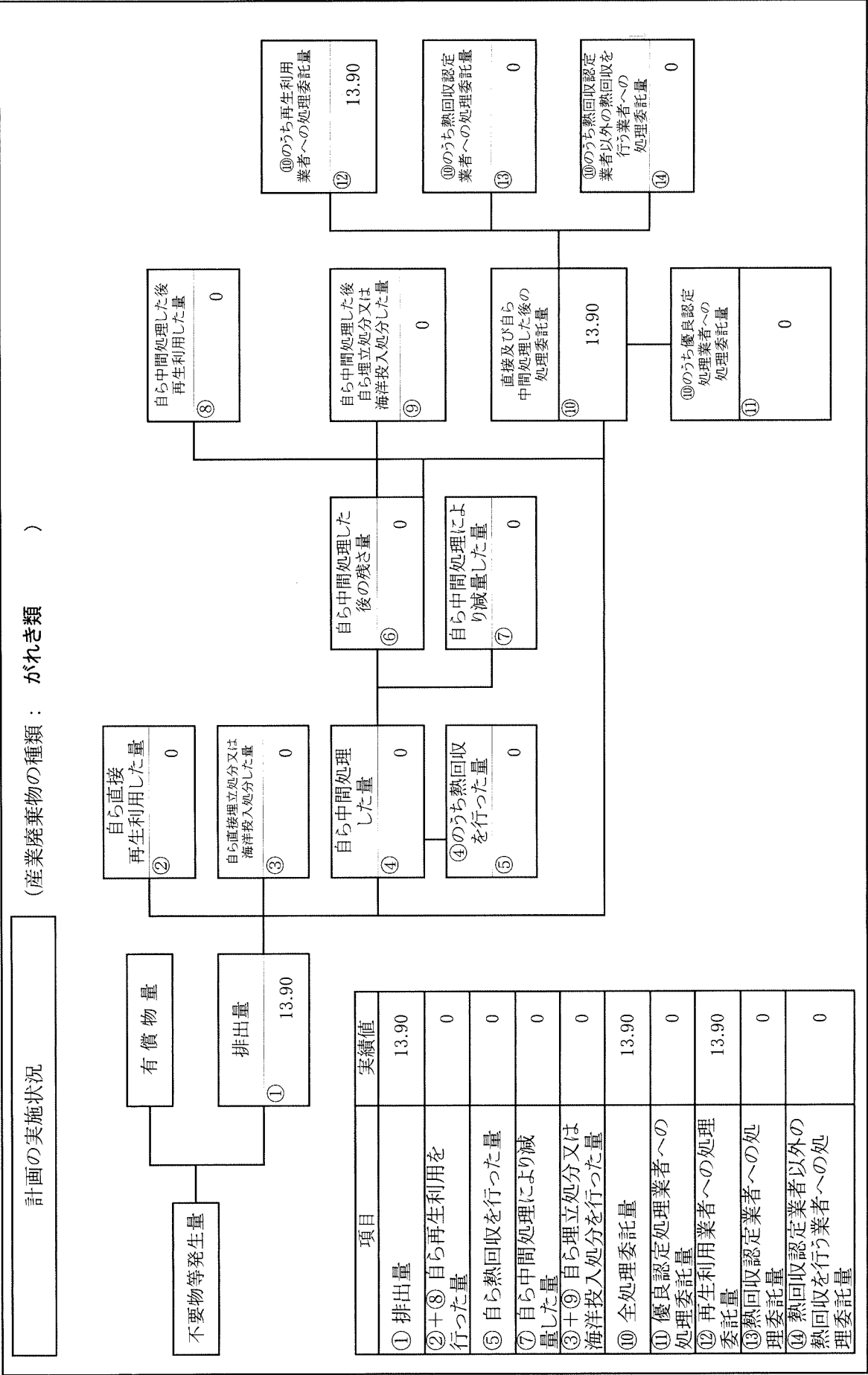
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

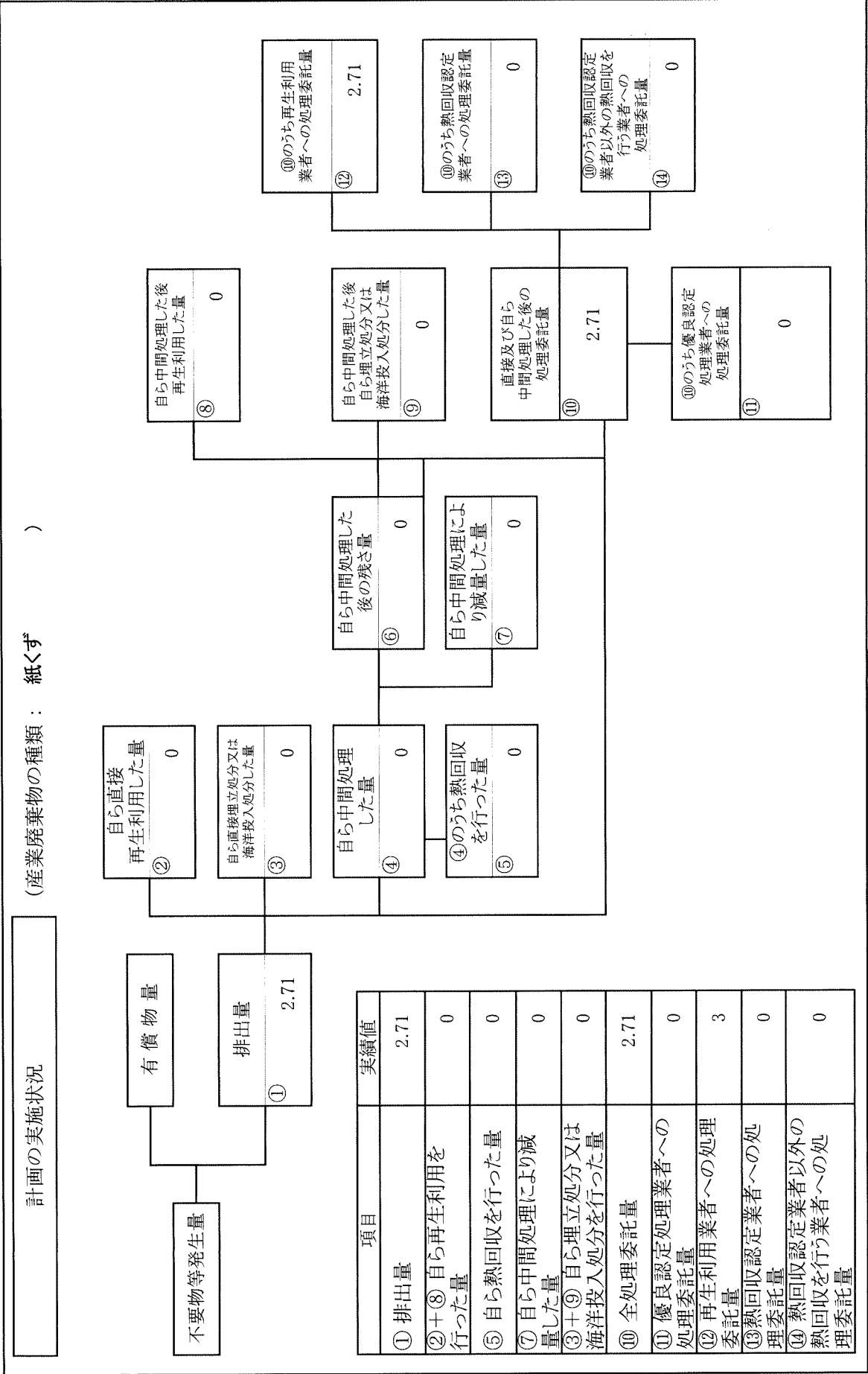
0

項目	実績値
① 排出量	254.64
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	254.64
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	254.64
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0









別紙（参考様式）

報告年度		令和 5 年度	事業場の名称		(株)日新土建						
番号	工事No, 工事名	委託期間	総排出量 (t)	As 殻	Co 殻	木くず	廃プラ	金属くず	がれき類	汚泥	紙くず
22-004 1	河川海岸改良(改良)工事 (堤防補強)		380.03		367.17	10.20	2.23				0.43
22-006 2	松川地区構造物工事		107.01		75.52	1.65	22.80	0.23	6.81		
22-008 3	浅川地区道路構造物工事		109.24	66.14	39.81	1.46	1.75	0.08			
22-009 4	河川(補助)工事(護岸)		285.06		281.81	2.25	1.00				
22-010 5	東北中央自動車道交通 事故対策工事		30.41	13.32	17.09						
22-074 6	堀河町終末処理場改造工 事(土木2期工事)		219.43	4.92	204.47	0.79	2.16		7.09		
22-075 7	岡部第二号污水幹線管渠 布設工事(第2工区)		75.45	75.45							
22-706 8	市道泉・萱場線外2路線 道路側溝修繕工事		1.82		1.82						
23-001 9	河川海岸維持管理工事 (改良)工事(河道掘削)		231.69			231.69					
23-002 10	河川海岸改良(改良)工事 (堤防補強)		0.63				0.55				0.08

備考

- 1 この別紙は報告の対象となる産業廃棄物の種類が報告書（様式第三号）に足りない場合に使用すること。
- 2 報告年度には、元となる報告書（様式第三号）の表題と同じ年度を記載すること。
- 3 事業場の名称には、元となる報告書（様式第三号）と同じ名称を記載すること。
- 4 別紙番号には、分母部分に報告書の総数を記載し、分子部分に当該別紙の番号を記載すること。

別紙（参考様式）

報告年度		令和 5 年度	事業場の名称		(株)日新土建							
番号	工事No, 工事名		委託期間	総排出量 (t)	As殻	Co殻	木くず	廃プラ	金属くず	がれき類	汚泥	紙くず
23-003	11 市道清水内・西原前線道路側溝修繕工事			51.67 /	22.33	29.34						
23-511	12 市道堀ノ内前・一本橋線道路舗装修繕工事			0.90 /		0.90						
23-514	13 市道前田・畑田線道路側溝修繕工事			0.96 /		0.96						
	14 道路維持補修業務委託			4.50 /	1.24	1.94	1.32					
	15 河川維持管理業務委託			10.10 /		6.85	3.25					
	16 第一倉庫			11.47 /		1.94	2.03	5.30				2.20
17												
18												
				1520.37 /	183.40	1029.62	254.64	35.79	0.31	13.90	0.00	2.71

備考

- 1 この別紙は報告の対象となる産業廃棄物の種類が報告書（様式第三号）に足りない場合に使用すること。
- 2 報告年度には、元となる報告書（様式第三号）の表題と同じ年度を記載すること。
- 3 事業場の名称には、元となる報告書（様式第三号）と同じ名称を記載すること。
- 4 別紙番号には、分母部分に報告書の総数を記載し、分子部分に当該別紙の番号を記載すること。